

▶▶ 環境パフォーマンス

項目	単位	2016年度	2017年度
エネルギー	kL/年(原油換算)	8,373	8,421
CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /年	16,024	15,910
水	m <sup>3</sup> /年	55,104	71,453
産業廃棄物排出量	kg/年	760,588	475,464
排水量(排水処理施設)	m <sup>3</sup> /年	10,274	20,084

▶▶ 大気関係

項目	施設名	法・公約 規制	自主 管理基準	実測値		
				平均値	最大値	測定頻度
対象外						

▶▶ 大気関係 排出総負荷量 (単位:トン/年)

項目	排出総負荷量	
	2016年度	2017年度
対象外		

▶▶ 水質関係

項目	単位	法・公約 規制	自主 管理基準	実測値		
				平均値	最大値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	mg/L	5.8~8.6	6.3~8.1	7.1	7.5	1回/月*
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	160	9	0.8	1.2	1回/月*
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160	9	1.6	2.6	1回/月*
浮遊物質(SS)	mg/L	200	4.5	2未満	2未満	1回/月
ノルマルヘキササン抽出物質	mg/L	5	4.5	1未満	1未満	1回/月
大腸菌群数	個/ml	3,000	315	30未満	30未満	1回/月
窒素	mg/L	120	54	4.2	8.2	1回/月*
燐	mg/L	16	7.2	0.1未満	0.1未満	1回/月*

\*自動分析装置で2時間毎に分析

▶▶ 水質関係 排出総負荷量 (単位:トン/年)

項目	排出総負荷量	
	2016年度	2017年度
化学的酸素要求量(COD)	0.03	0.03
生物化学的酸素要求量(BOD)	0.02	0.02

▶▶ 悪臭関係 規制地域外

▶▶ 騒音・振動関係 基準値の超過はありません

▶▶ 粉塵関係 基準値の超過はありません

▶▶ PRTR対象物質 (単位:トン/年)

物質番号	対象物質	取扱量	排出量			移動量		その他の量		
			大気排出	水域排出	土壌排出	廃棄物	下水道	リサイクル	消費	除去処理
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸およびその塩	7.7	0	0	0	0.1	0	0	7.6	0
31	アンチモンおよびその化合物	1.6	0	0	0	0	0	0	1.6	0
412	マンガンおよびその化合物	32.7	0	0	0	0	0	0	32.7	0
報告対象物質合計		42.0	0	0	0	0.1	0	0	41.9	0

▶▶ 環境保全効果

効果内容	投資金額(千円/年)	効果金額(千円/年)	効果量
エネルギー削減	29,419	1,108	16kL/年(原油換算)
廃棄物削減		26,485	32,981kg/年
水削減		0	0
その他		4,353	-
合計	29,419	31,946	

事業内容	カラー・モノクロ トナーの製造	敷地総面積: 101,511m <sup>2</sup> 建築延床面積: 36,552m <sup>2</sup> 緑化率: 20.3% 従業員数: 304名(2018年3月末現在)	電力使用量: 32,850,949kWh(2017年度) 水使用量: 73,567m <sup>3</sup> (2017年度) 産業廃棄物排出量: 475,464kg(2017年度)
------	--------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------



工場長ごあいさつ



工場長 中森 茂樹

玉城工場は、各種トナー(複合機やプリンター用の粉末状インク)の開発から生産までを担うトナー生産の主力工場です。また複合機などの機器組立に用いる治工具の開発も行っており、「ものづくり技術」を継承するためのマザープラントとしても、その役割を担っている重要な拠点です。この重要な事業活動を永続的に発展させ続けるため、企業には地域社会との共生が求められています。工場の周辺は自然環境に恵まれており、住宅地、農作地にも隣接しています。そのため当工場は、特に環境保全と地域との共生とともに、安全な職場の実現を最重要課題と認識して取り組んでいます。

環境保全に関しては、工場排水、粉塵などを対象に排出基準を定めて、管理を徹底しています。このような環境への取り組みについてCSR報告会を開催し、近隣住民の皆さま、地元の行政機関の皆さまにご出席いただき、取り組みの内容を報告しています。

地域との[共生]につきましては、継続して取り組んでいる地域公共施設の清掃活動や、毎年夏には夏祭りを開催し、多数の地域住民の皆さまに会場いただき、友好的な関係を築くよう努めています。

2017年度 環境目標と実績

環境目的	項目	2017年度目標	2017年度実績	結果	コメント
低炭素社会への貢献	温室効果ガス排出量 原単位の削減(kg-CO <sub>2</sub> /t) 原単位分母:トナー生産量	2016年度比 1.0%削減	2016年度比 29.3%削減	達成	省エネ施策の実施により、原単位を改善
	エネルギー使用量(原油換算量) 原単位の削減(kL/kg) 原単位分母:トナー生産量	2016年度比 1.0%削減	2016年度比 29.3%削減	達成	省エネ施策の実施により、原単位を改善
循環型社会への貢献	産業廃棄物排出量 原単位の削減(kg/kg) 原単位分母:トナー生産量	2016年度比 1.0%削減	2016年度比 44.1%削減	達成	排水設備の改善により、産業廃棄物として廃棄される汚泥の量を削減
	水使用量原単位の削減 [m <sup>3</sup> /kg] 原単位分母:トナー生産量	2016年度比 1.0%削減	2016年度比 33.8%削減	達成	生産効率の改善により、設備冷却水を削減

### ピーク電力・CO<sub>2</sub>排出量の削減

2017年度は、前年度に引き続き、1986年に設置した集中式空調システムを、効率が大きく向上した最新型の個別空調方式に更新して、年間26,500kWhの省エネを図りました。



個別空調システム

### 廃棄トナーの有価物化

工場の生産量拡大に伴い、産業廃棄物は年々増加傾向にあります。毎年削減目標を掲げて産業廃棄物を削減してきました。2012年度から取り組んでいる廃棄トナー（製造時に発生する製品化できないトナー）の再利用については、有価率を80%以上まで向上させることができました。また、廃プラスチックについても、分別を徹底することで、80%以上がプラスチック原料（有価物）として活用できるようになりました。



製鋼用廃棄トナーの保管場所

### 地域社会とともに

#### Kids'ISO 14000環境出前授業を実施

三重県では、三重県環境基本計画を踏まえ、環境教育の実践活動として、県内の小学校児童が家庭における省エネルギーなどの活動を通じて環境への関心を高める「Kids'ISO 14000プログラム（入門編）」の取り組みを推進しています。このプログラムに協力し、玉城町の全4小学校で、授業を行いました。保護者や先生方からは「省エネに対する意識向上の良い機会になった」というお言葉をいただきました。



授業の様様

#### 地域での清掃ボランティア活動

労働組合と共催で行う清掃ボランティア活動として、玉城町が春と秋に主催する、田丸城跡グリーン作戦に毎年参加しています。また、NPO法人との協力により松名瀬干潟海岸の清掃ボランティア活動を通じ、地域住民の憩いの場の環境を守ることを目標に日々活動を行っています。



田丸城での草刈り作業



松名瀬干潟海岸の清掃ボランティア活動

#### 夏祭りを開催

2017年7月29日に開催された夏祭りでは、地域の皆さまやお取引先さま、社員とご家族合わせて約1,700名に來場いただきました。福祉バザー、PK合戦、塗り絵などの催し物コーナーや、ヨーヨー・金魚すくいなどの模擬店、社員バンドによる演奏が、大変好評でした。地元の「玉丸音頭保存会」による踊りもご披露いただきました。最後は、迫力満点の夏の風物詩「打ち上げ花火」を実施しました。



迫力満点の打ち上げ花火

#### 玉城町産業フェアに出展

玉城町の産業振興を目的として2017年11月26日に開催された、玉城町産業フェア「玉城ええやんかまつり2017」に出展し、環境に配慮した当社製品の理解を深めていただきました。デジカメで撮影したデータを取り込み、複合機でカレンダーに印字してプレゼントするイベントを開催し、自分たち独自のカレンダーが作成できると評判を呼び、盛況のうちに終了しました。主催者の玉城町役場から「毎年出展いただき、地域の振興に貢献されています。」とお言葉をいただいています。



当社ブース

### 労働安全衛生・健康管理の取り組み

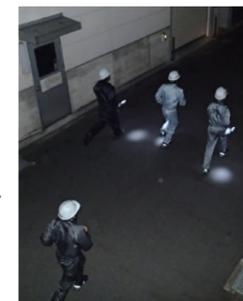
当工場では、労働災害撲滅や社員の健康管理を目的として、毎月実施している全体朝礼時に、京セラグループの労働災害の報告や、保健師から熱中症、インフルエンザ、感染予防、健康診断結果の活用法などの健康管理のアドバイスをを行い、労働安全衛生の啓発活動を推進しています。労働安全衛生の取り組みとしては、日頃の安全衛生改善活動、リスクアセスメントやヒヤリハット活動を展開しています。また、毎月の工場長や安全管理者の安全衛生パトロール、毎週の衛生管理者パトロールのほか、半年に1回京セラドキュメントソリューションズグループ環境安全統括者の安全衛生パトロールを行い、不安全な箇所や作業がないことを確認しています。



全体朝礼時の報告会

### 防災への取り組み

三重県は南海トラフの巨大地震発生予想地域であり、日頃より災害発生時の被害を最小限にとどめられるように、緊急地震速報システムを設置するとともに、防火防災訓練を定期的に行っています。防火防災訓練では、緊急地震放送による自分自身の身を守る初動訓練、火災発生を想定した通報連絡や初期消火訓練、全員参加による避難訓練を行っています。また、AED使用訓練、屋外消火栓操作訓練などのほか、2012年より夜間の災害発生に備えた夜間防災訓練を加え、災害発生時の対応強化を図っています。



夜間防火防災訓練



総合防火防災訓練

### 多目的室の設置

当工場では、日頃から社員の健康に対する意識向上を図る取り組みを行っています。この一環として、工場内の共有場所に健康器具・卓球台を設置した「多目的室」を設け、社員の適度な運動やコミュニケーション機会を創出して、活気ある職場環境の構築や、社員が自ら健康増進に取り組める一助としています。



健康器具が置かれた多目的室

### 構内通路での安全確保の取り組み

当工場では、構内屋外通路における歩行者の通行帯を緑色で区別することにより、構内歩行者専用通路の設定を行いました。これにより、社員はもちろん、外部入場者においても通行区分が明確となり構内通行の安全確保に大きく寄与することができました。



構内歩行者専用通路

### 交通安全への取り組み

当工場では通勤や業務上で車両を利用することが多く、交通安全講習会の実施などの交通安全活動を行っています。社有車運転資格制度を設け、「運転資格者は社内の認定基準を満たした者」と定め、交通安全「SDカード」の保有も条件としています。社有車にはドライビングアナライザー\*を設置して車両運行状況を確認し、社有車運転者の安全意識の向上につなげています。また、全国交通安全週間には、地域と連携して街頭での交通安全キャンペーンにも参加しています。

\*ドライビングアナライザー：運転状況（速度・急加速・急ブレーキ）などを記録し、危険挙動がないか確認できる。



社員が参加する交通安全キャンペーン